

シルバー  
さかい



秋季号  
2014年(平成26年)10月  
第109号

(公社)堺市シルバー人材センター  
〒593-8325 堺市西区鳳南町4丁444-1  
(鳳保健文化センター3階)  
TEL 072(260)0468  
FAX 072(274)8801  
<http://sakai-sjc.or.jp>

山口家住宅(重要文化財)のハゼノキ

町家歴史館山口家住宅の奥座敷の庭にはハゼノキが2本植えられています。このハゼノキは、約200年前に庭がつくられた時に植えられたものと考えられます。11月下旬には見事な紅葉が見られます。

入館料200円(65歳以上の方、障害のある方、中学生以下は無料)  
開館時間10時～17時(入館16時30分まで、火曜日休館)

(写真・文 堺市文化財課提供)



目次			
普及啓発活動 .....	2	会員交流活動の紹介 .....	6
地域委員研修会の開催について .....	2	健康アラカルト .....	7
就業機会の確保・拡大への取り組み .....	3	私の作品、頭の体操 .....	8
3委員長に聞く .....	4～5		

# 区民まつりで普及啓発活動

ブロックでは、区民まつり(フェスタ)に参加し、地域の人々とふれあい、就業開拓をはじめとするセンター事業の普及啓発を行ってまいります。会員の皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

【区民まつり実施予定日】

名称	開催日	開催場所
北区域交流まつり	平成26年11月 1日(土)	金岡公園
みはら区民まつり	平成26年11月 2日(日)	美原区役所・美原文化会館
西区ふれあいまつり	平成26年11月 8日(土)	西区役所
南区ふれあいまつり	平成26年11月 9日(日)	西原公園
堺区ふれあいまつり	平成26年11月16日(日)	堺市役所(堺区役所)

普及啓発活動



## 中区区民フェスタで啓発

8月23日(土)に開催された中区区民フェスタに多くの会員が参加し、シルバー事業の普及啓発と周辺の自転車整理などのボランティア活動に取り組みました。



## 地域委員研修会の開催について

### 開催日時

平成26年10月28日(火)  
午後1時 受付  
午後1時30分 開会

### 開催場所

サンスクエア堺

### 研修内容

- 【講演】堺市シルバー人材センターの現状について
- 【分科会】班ごとに設定されたテーマについて討論

## ほつごり女子

新年号から女性会員みなさんで作り上げていただく女性のページ「ほつごり女子」を新設します。みなさんの仕事に対する抱負や現場での苦労話、地域活動に参加しての感想、サークル・同好会での活動、日常生活で健康維持のために気を付けていること、家族やお孫さんとの旅行記、そして得意料理レシピを「おかんクッキング」と題して掲載し

ます。写真とともに投稿をお待ちしています。なお、投稿の受付は来年1月以降とします。掲載の可否は編集会議で決定します。投稿原稿や写真は返却しませんのであらかじめご了承ください。

### 投稿先

〒59318325  
堺市西区鳳南町4-444-1  
鳳保健文化センター内  
公益社団法人  
堺市シルバー人材センター  
『シルバーさかい』編集担当宛て



# 就業機会の確保・拡大への取り組み

## 堺市・堺市議会に 公共事業の発注等について支援を要請



(左から)森総務委員長、成本事業委員長、大宮安全・適正就業委員長、戎野理事長、竹山堺市長、中野健康福祉局長

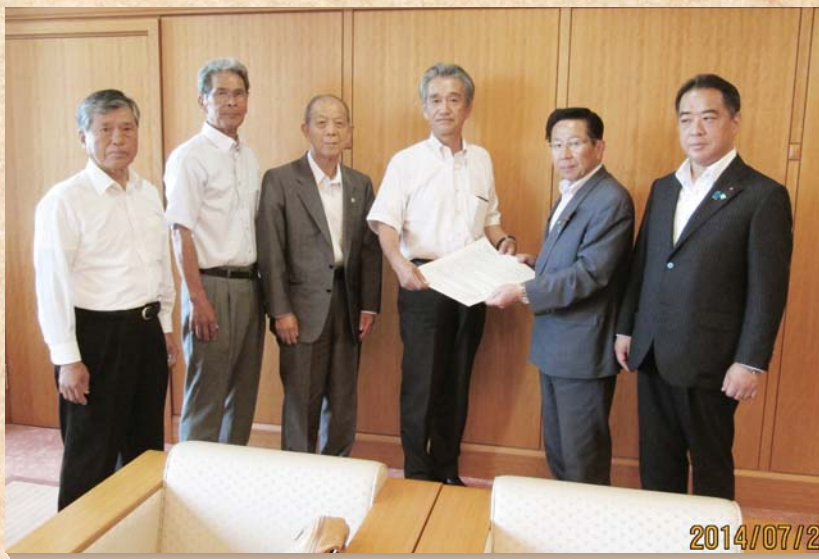
7月23日(水)に戎野理事長、森総務委員長、成本事業委員長、大宮安全・適正就業委員長が竹山堺市長、

大毛堺市議会議長、水ノ上堺市議会副議長にシルバー人材センターの現状、当センターの事業推進状況を説明

するとともに公的支援を強く要請しました。

「人生100年時代」を見据えて、国では「生涯現役社会の実現」に向けた取り組みが進められています。こうした高齢施策の一翼を担うシ

ルバー人材センターの役割は大変重要視されています。高齢者が就業や多様な社会参加を通して、健康で生きがいをもって地域社会の活性化に貢献するために、就業機会の確保・拡大を図り、急増する高齢者の受け皿であるセンターが機能を充実し、高齢社会対策の理念が十分果たせるように、公共事業の発注やセンターを取り巻く環境整備等について要請



(左から)森総務委員長、大宮安全・適正就業委員長、成本事業委員長、戎野理事長、大毛市議会議長、水ノ上市議会副議長

しました。

市長から「市民や企業が『是非シルバーにお願いしたい』という顧客満足度の高い良質なサービスの向上をめざして頑張ってほしい」と激励の言葉をいただきました。

今年6月5日の総会で新理事に選出され、6月12日の第3回理事会で総務、事業、安全・適正就業委員会の委員長が決まりました。新たに就任された3委員長に委員会での運営についての抱負や課題解決への取り組みなどを伺いました。

### 森昌幸 総務委員長に聞く



#### ◆委員長に就任して

##### —委員長としての抱負

総務委員長という重責に戸惑いと緊張の日々です。

会員が自らの知識や経験、技能を生かして、生きがいをもって楽しく元気に日々を過ごし、会員になつてよかつたと思つてもらいたいですね。そうした会員が増えればシルバー人材センターに対する地域の評価は高くなり、センターが発展します。

そのためには、いかにして会員にセンターの構成員としての意識を持ってもらうか、そして

積極的に事業参加してもらうのが大きな課題です。委員会

として

### 会話のキャッチボール大切

また、新たな

決に向けて力いっぱい頑張つてまいります。

#### ◆現状と課題解決への取り組み

##### —会員意識高揚への取り組みについて

総務委員会が担当する事項の中で、とりわけ会員意識の高揚に取り組みたいと思つています。会員はセンターが行政区ごとに設置しているブロック(地域班)に所属することになり、ブロックでの活動に参加することになります。ブロック活動は会員の事業参加意識が高揚しなければ活性化しません。そのためには、まず会員との交流を深める

ことが不可欠です。

今、ブロックでは地域役員が会員宅を訪問し、センター情報や伝達や意見交換、健康状況の聞き取りなど親しく会話して交流を深めているところですが、もっと充実させる必要があると思ひます。

#### ◆委員長に就任して

##### —委員長としての抱負

魅力ある理事像とは何かを探り、おのおのがセンターの役員



### 成本清志 事業委員長に聞く



「さかい」を配布してはどうかと思つています。

5月に北ブロックが会員向け情報紙「ほほえみ」を発行しました。会員との絆を深める、とても素晴らしい取り組みです。他のブロックも地域と連携したボランティア活動に取り組み、年月をたどるごとに参加会員が増えてきています。こうしたブロックでの取り組みや会員の自主サークル活動などにより、交流がますます促進されて、ブロック活動や職域班活動がより一層活性化し

てほしいと思つています。

また、会員が仕事や地域での活動を通して生きがいのある生活を送るためには、健康でなければなりません。機会あることに健康管理意識の高揚を図つてまいります。

#### —会員の増強について

「シルバーの日」や各区分民まつり、「堺ツアーデー」などでのセンター事業の啓発に取り組みとともに、会員増強、特に女性会員の増強に取り組みたいと思つています。

ター事業の根幹です。

65歳定年制が浸透するにつれて新入会者が高齢化しており、センターが受注できる仕事や就業機会の獲得・提供に一定の制約が加わってくることは否めな

いと思ひます。こうした状況の下での就業開拓は課題が多い。現在、就業開拓は2名、担当職員1名が就業開拓に取り組んでいますが、開拓員数や従事時間、体制などに問題があります。今後、就業開拓を促進するには就業開拓員を増員し、併せて開拓

に基づき、センター組織のあり方などについて3委員長が連携して議論を重ね

### 就業・職域開拓にウエート

ていきたいと思つています。

#### ◆現状と課題解決への取り組み

##### —就業機会の確保・拡大に向けて

就業機会の確保・拡大はセン

であることの認識を深めて、前向き

# 新任3委員長

# 意気込み熱く

## 大宮和明 安全・適正就業委員長に聞く



### ◆委員長に就任して

#### — 委員長としての抱負

会員が事故なく安全に働けるように、委員全員がスピード感をもって取り組んでいきます。

### ◆現状と課題解決への取り組み

#### — 作業中の損害事故防止対策について

センターの損害賠償事故の大半が除草作業中に刈払機が石をはね、車などに損害を与えるケースで、賠償額は多額に上っています。

事故を減少させるために『石をはねない刈払機(カルマー)』を試験的に導入しました。その結果、事故が激減しました。今後はカルマーを多く購入し、使用法やメンテナンスについて



会員に指導してまいります。

また従来の刈払機(チップソー)とカルマーとの使用範囲を明確化し、チップソー使用時には飛び石防ネット設置を徹底し、作業の安全を確保したいと思っています。事故分析すれば「慣れ・思い込み」による基本的なミスが原因です。

事故を防止するために、安全作業を基本から見直し、作業前のミーティングなどで次のことを徹底してまいります。

- ① 安全作業と安全就業基準の徹底
- ② 作業前の器具類の点検
- ③ 作業に適した服装や防護具の着用
- ④ 共同現場での合図確認と連携
- ⑤ 加齢による身体諸機能低下についての啓発など

#### — 就業中の傷害事故防止対策について

現在、事故が発生すれば事故報告書を提出してもらい、関係者から聞き取りを行い、

員が機  
動性を  
もって  
企業訪  
問など

をできる体制をつくらなければなりません。これをなくして就業開拓は望めません。

また、地域班では副ブロック長が就業拡大の役割を担っていますが、会員からの求人情報の収集をもっと充実させていかなければなりません。そのためには、会員一人ひとりが身近な人にセンター事業をPRするとともに、求人情報の収集活動

原因を究明して再発防止に努めているところです。

安全の確保には会員が安全意識を高めることが不可欠であることから、研修会や講習会の開催など、あらゆる機会を通して啓発していく必要があると思っています。とりわけ、除草や植木剪定作業などの事故危険率が高

### 石をはねない刈払機を導入

場には、安全パトロールと安全指導を強化するとともに、ヘルメットなど防護具着用の徹底を図り、

を活性化させることが不可欠です。

再受注の拡大を図ることも大切なことです。顧客満足度の高い仕事を通して、より一層発注者の信頼を得られなければなりません。そのためには会員資質の向上を図る必要がありますので、特に接遇研修や技能研修などの拡大と充実を図ることが大きなテーマとなります。

#### — 会員の育成について

植木剪定や除草など、需要の多い職種では後進の育成が喫緊の課題です。

現在、植木剪定班や除草班違反者については就業の停止も視野に入れ「事故0」を目標に安全を確保していきたい。

#### — 就業途上の事故防止対策について

自転車や原付バイクの事故が多く、自転車事故では加害者が多額の損害賠償を請求されるケースが増えています。事故

### 当事者に

ば、楽しい生きがいのある生活も一変します。交通ルールを守り、時間に余裕をもって行動す

では繁忙期に発注が集中し、手が回らず、やむなく受注を断っている状況にあります。こうしたことは、就業機会の確保・拡大からすれば望ましくありません。早急に解決しなければなりません。まず、植木剪定の問題についてプロジェクトチームを発足させ、後進育成、組織のあり方などについて検証してまいります。

また人材を確保し、発注者からの要望に迅速に対応ができるように、会員が希望する職種ごとにグループ化を図ることも大切な施策と思います。

ることが大切です。こうしたことから、道路交通法の改正内容や自転車運転マナーの向上など安全講習会を開催します。また「シルバーさかい」などで安全意識の高揚に努めてまいります。

#### — 適正就業の是正と確保について

長期就業、長時間就業については厚生労働省の厳しい指導もあり、年間960時間、月80時間以内の就業について、企業に理解を求めながら精力的に是正を進めます。

# 会員交流活動の紹介

## 会員親睦旅行

東ブロック 河野 豊茂

### 河内音頭で踊りの輪!!

9月17日(水)～18日(木)と9月30日(火)～10月1日(水)の2班に分かれて325人の会員(家族・友人を含む)が世界遺産に登録された五箇山合掌造りと秘湯金太郎温泉への旅をしました。

午前8時に堺を出発、西名阪道を走り関刃物センターで包丁研ぎの実演を見学。美濃郷土料理の昼食の後、早々とバスに乗りこみ東海北陸道から北陸道を経て五箇



の温泉で体が心から温まり、肌がすべすべする良い泉質で、九谷焼の陶板壁画がある300坪の大浴場や庭園大露天風呂があり、日頃の疲れ

を癒しました。宴会は富山のおいしい料理に舌鼓を打ち、カラオケで盛り上がりました。終わりは「河内音頭」で自然に踊りの輪ができ、会員一同和気あいあいと親睦が深まった素晴らしい交流の場となりました。



翌日は富山の薬問屋とます寿し工場を見学して高岡大仏にお参りしました。北陸道で福井に向かい、越前竹人形の里で昼食。羽二重餅や「安田蒲鉾道場」を見学・試食の後、敦賀の「日本海さかな街」で



買った。土産物を両手いっぱいに来年の再会を誓い合って帰路に就きました。



このほど、有志とともに川柳の会「梟(ふくろう)」を発足させました。日本人の平均寿命は84歳で世界有数の長寿国。しかし、健康で日常生活が制限されずに生活できる期間を示す健康寿命とに、かなりの差があります。今、老後の過ごし方に大変関心が高まっています。「趣味」「友人や地域との交流」「健康づくり・運動」「就労」など、生きがいを感じる活動への意欲は旺盛と聞きます。そこで私も、脳の活性化にとっても良い「川柳」を学ぶことに致しました。

会長 伊藤 勝子(北ブロック)

### 川柳の会「梟」発足



何かとストレスの多い今日、五・七・五の文字を詠んで明るく、おかしく、軽やかに過ごしませんか。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

連絡先(250)2124

# 健康アラカルト

>32<

## 健やかに齢を重ねるための

### 医療豆知識(その3)

#### 自動車の運転免許証

会員の皆さん、ちよつと昔を思い出してください。「モーターゼーション」(自動車の大衆化)という言葉がありました。1960(昭和35)年、道路交通法が制定され、1969年、警察庁は運転者管理システムを開始。運転免許証取得者は2478万人でした。人口の24%です。それから約40年、人口の64%、8122万人の人々が自動車の運転免許証を所持しています。

トヨタ自動車(株)は、今や世界の「TOYOTA」として年間、約1000万台を生産しています。車も品質改良され、道路も整備されました。これに伴い道路交通法も改正され、平成21年には70歳以上のドライバーには「講習予備検

査」制度が新設されました。これは高齢者対策として、われわれにも対応するものですので、安全運転のためには必要な制度です。該当する方は継続して受検するようにお勧めします。

#### 認知症も早期発見が重要です

#### 病気に注意

今年5月から「自動車運転死傷行為処罰法」が施行されました。アルコール、薬物、病気の影響により、

正常な運転に支障が生じる恐れがある状態で自動車を運転し、人を負傷させると12年以下の懲役、人を死亡させると15年以下の懲役と、厳しくなりました。病気の影響とは、てんかん、統合失調症、再発性の失神、低血糖症、そううつ病、重度の眠気の症状に襲わ

れる睡眠障害。さらに認知症、アルコール中毒、危険ドラッグ(脱法ハーブ)服用などの薬物中毒があります。

これら運転免許証取り消しの事由となる患者を診察した医師は、今年5月から任意で公安委員会に届け出を行う場合であっても、刑法の秘密漏示罪や個人情報保護法違反にはなりません。ちなみに先進国の例として、英国では正常な運転に支障が生じる病

気が発症した場合、本人、介護者、かかりつけ医などから監督官庁に通報する義務があるのです。

#### 認知症予備軍

認知症は誰でもかかる可能性のある病気です。しかし、知識と適切なケアで発症を遅らせ、進行を抑えることができる病気でもあります。最近、この病を語るとき「MCI」という言葉がよく出てきます。「Mild Cognitive Impairment」の略語で「軽度認知障害」と

訳され、認知症の「前駆症状」と位置づけられています。現在、日本では65歳以上の高齢者のうち13%、400万人があたると思われています。世界的にも認知症の特効薬はまだ見つかっていませんが、適切な予防措置を講じることにより、MCIは他の病気と同様、早期発見が重要です。

MCIは、まだ病気ではありません。定義として次の項目が述べられています。

- ① 記憶障害の訴えが本人または家族によって認められる
- ② 日常生活動作は正常である
- ③ 全般的な認知機能は正常である
- ④ 年齢や教育レベルの影響のみでは説明できない記憶障害が存在する
- ⑤ 認知症ではない。以上は通常の物忘れと認知症の中間に位置するグレーゾーンを指すのでMCI自体は病気ではないが、放置すれば約半数は認知症となり1年間でも10~15%が認知症に移行するといわれています。

厚生労働省は、昨年6月に発表した調査推計で

国内の65歳以上の高齢者約3079万人のうち、認知症患者が15%の462万人。MCIも13%にあたる約400万人とみえています。65歳以上の高齢者の4人に1人は認知症かMCIのいずれかに該当するといふことになりました。

#### 進行の鈍化

医学は日進月歩で進んでいます。しかし、未知の領域の方がはるかに多いのです。現状で認知症になつてしまった場合、根治を望むのは無理です。現実の医療方法といえば、それは「進行の鈍化」です。MCIも的確な予防措置を講ずることにより認知症への移行を予防したり、遅らせることは可能といえます。

専門家はMCIの段階での早期発見の重要性を指摘しています。多くは生活習慣の乱れが何らかの発生要因にからんでいるといわれていますが、そのファクターは多岐にわたっています。

(森本昌孝)〓おわり〓

# 私の作品



松尾寺の秋  
西ブロック 掛谷 滋平



夕暮れ時  
中ブロック 五領田 清一



消え行く昭和の店  
北ブロック 山本 順一

## 第42回 町おこし探検隊 からのお知らせ

今回は、津久野駅から約2キロの道のりを歩いて朝日新聞堺工場を見学します。

見学後、徒歩で家原大池体育館に行き、ウォーキングの研修や体験談をお聞きして、遅めの昼食の後、解散します。

日 時 平成26年 11月21日(金)

集合場所 JR阪和線津久野駅前

集合時間 午前11時

解散時間 午後3時頃

会 費 2000円

持ち物 弁当、飲み物、帽子など

募集人員 80人

申込締切 11月10日(月)

その他 歩くことに自信のない方は駅前からバスを利用してください。

申込方法 官製はがきに「町おこし探検隊」徒歩希望(またはバス希望)と書いて、所属ブロック、会員番号、氏名、住所、電話番号を記入の上、事務局まで。

事務局まで。

### ——山 柳——

北ブロック いそのや

○有頂天 二人の恋は 砂時計

北ブロック ひろし

○楽しみは 難関越えて 青い鳥

北ブロック 多良福

○極楽や つまみ並べて ビール飲む

### ——短 歌——

西ブロック 上田 雅子

○ひさびさに 次々揚げ物 出す卓を「王様の気分」と 孫娘言う

### 頭の体操

今、各分野で女性が躍進しています。その女性を賛美するこ とばを列挙しました。次の四文字熟語を完成させてください。

- ① 眉目○麗
- ② 百花繚○
- ③ 才子○人
- ④ 欣○雀躍
- ⑤ 偕○同穴
- ⑥ 同床○夢

締め切りは11月7日(金)。はがきに解答、会員番号、氏名、住所、電話番号を明記の上、「シルバーさかい」編集担当宛て。正解者多数の場合、抽選で10名に記念品をお送りします。

### 前号の正解

イ 春眠暁を覚えず

ロ 鶴は千年 亀は万年

ハ 渡る世間に鬼は無い

ニ 少年老い易く学成り難し

ホ 勝つて兜の緒を締めよ

応募総数65通、正解者61通、抽選の結果、当選者10名に記念品をお送りしました。

### 原稿募集



書、写真、絵画、短歌、俳句、川柳、私の健康法、就業先での出来事、体験談、感想文など(600字程度)お寄せください。締め切りは11月7日(金)まで。「シルバーさかい」編集担当宛てまで。なお原稿の返却は致しませんので、ご了承ください。

### 編集後記

★広島市での土砂災害・御嶽山の噴火は多くの人の命を奪いました。今回の惨事は、異常気象や想定外の天災です。まされるものでしょうか。亡くなられた方のご冥福をお祈りいたしますとともに被災された皆さまにお見舞い申し上げます。

★秋季号で企画した「3委員長に聞く」でそれぞれの新委員長が抱負や課題解決への取り組みについて熱く語られました。この思いが会員に伝わり地域や職域での活動がもつと活性化してセンターの発展につながってほしいと思います。

★日々の健康管理の指針となるようにと企画した「健康アラカルト」は、今回で完結します。長年にわたりご執筆いただいた森本昌孝氏に厚く御礼申し上げます。

★日本男性の平均寿命が80歳を超え、女性は86.61歳で2年連続世界一の長寿国になりました。昨今は「健康寿命」が関心を呼んでいます。日常生活で、介護を必要としないで自立した生活が送れる期間をいいます。男性が70歳、女性が73歳で平均寿命との間になりの差があります。ちなみに20大都市で「健康寿命」の最下位は男性が大阪市、女性が堺市とか。お互い健康に留意して元気に暮らしたいものです。(堅田 康夫)